

令和7年度 香川短期大学

『現代の国語』『言語文化』問題用紙

令和6年11月16日

注 意

1. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 問題は□一□から□四□まで、12ページあります。
3. 解答用紙、問題用紙ともに受験番号を記入しなさい。
4. 答えはすべて解答用紙に書きなさい。

受験番号	
------	--

次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

(今村仁司『精神の政治学』による)

問一 二重傍線部①②について、カタカナは漢字に改め、漢字は読み方をひらがなで答えなさい。

- ① 免れ ② ミワク ③ イギ ④ ミモン ⑤ 氾濫 ⑥ 閉塞

問二 空欄 A・B・C を補うのに、最も適当な語句を以下の選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

なお、同じ語句を二度使用してはならない。

- ア 操作 イ 破滅 ウ 表現 エ 描出 オ 否認 カ 非難 キ 要因 ク 抑圧 コ 革新

問三 空欄 (I) を補うのに、最も適当な語句を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア しかし イ かりに ウ とはいえ エ したがって オ ともすれば

問四 傍線部①「この原初的なタイプの新しさ」、②「単なる記号的差異としての新しさ」について、それぞれどのようなものか。

①は文章中から三十字以内で抜き出して書き、②は文章中の語句を用いて、二十字以内で説明しなさい。

問五 傍線部③「この新しさは、古いものである」という理由はなにか。左の文はその説明文である。本文中の語句を用いて、空欄を三十字以内で補い、説明文を完成させなさい。

それは にすぎないから。

問六 傍線部④「それら」にあたる語句を文中から三十五字以内で抜き出して、その最初と最後の各五字を答えなさい。

問七 傍線部⑤「温故知新」の意味を本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問八 傍線部⑥「ごく小さな新しい神々」をわかりやすく述べたことばを同じ段落から十五字以内で抜き出しなさい。

問九 次の各文について、本文の主張と合致しているものを、二つ選び、記号で答えなさい。

ア 過去に開花し得なかった古いものを取り出してくることは、政治革命を前進させる原動力となる。

イ いつの時代にも新しい思想が排除されるのは、エネルギーが涸渇した古い思想を借用しているからだ。

ウ 新しさがマイナス価値であった時代にも、それは古い価値体を批判する運動としての意味があった。

エ 現在の衣装のモードにおける新しさは、古い秩序を批判し破壊させようとする生産的価値を持っている。

オ 現代社会でもはやされているのは、単に記号的差異として追求されている新しさにすぎない。

カ 古いものの中に新しい価値を見い出したり、それを利用することは、どのような場合にも重要である。

二 次の文章は角田光代の小説『トリップ』の一節である。これを読んで、あとの問いに答えなさい。なお、設問の都合で一部に省略と表記を改めた箇所がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください

(註1) 蠟細工のサンプル：飲食店の店頭などに陳列されるメニューの一部を紹介するための食品模型。

(註2) 看護婦：「保健師助産師看護師法」改定により、二〇〇二年三月から、従来区別されていた看護婦、看護師が、男女ともに「看護師」という名称に統一されたが、本作品は二〇〇〇年に発表されたもので、執筆当時の表記のままとした。

問一 傍線部①「おいしいと思えるものはひとつもなかった」とあるが、その理由を文中の語句や文章を用いて六十字以内で説明しなさい。

問二 傍線部②「そのどれもが同じ味しかないのだ。何ひとつ選んでいないことと変わりが無いのではないか」という感想は、「あたし」の人生観と強く結びついている。それを示す一文を本文中から四十五字以内で抜き出して、その最初と最後の各十字を答えなさい。なお、句読点も字数に数える。

問三 傍線部③「何かが急速に腐りはじめ、何かがその腐敗を止めようとしている、その二つ」とあるが、それは何と何か、本文中から抜き出して答えなさい。

問四 傍線部④「あのおい。病院のにおい」について、その本質を端的に言い表した語句を本文中から五字で抜き出しなさい。

問五 「あたし」が病院内で食べる様々な食べ物は、本文中でどのような意味を持っているか。次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 看病に疲れた毎日にささやかな潤いと楽しみを与えてくれるもの。
- イ 高価なものから安価なものまで、さまざまに提供された商品
- ウ 限りある与えられた選択肢の中で、選択する楽しみを与えてくれるもの。
- エ 制約が多いように見えるが、じつは無限にある人生の可能性
- オ 一見多彩で豊かにあるかのように見える、人生の選択肢と可能性

問六 本文における叙述の特徴として、最も適当なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 現実にはそうではなかったと知りつつも、こうあってほしいと「あたし」が思う願望としての光景が描かれている。
- イ 父と主人公に焦点をあてることで、見舞いにも来ない家族の非情さと「あたし」の孤独感を表現している。
- ウ 「あたし」と病床にある父親とのさりげない心の交流を描いて、親子の絆の強さを強調している。
- エ 実際はそうではなかったが、「あたし」にとつてそうとしか思えない記憶の中の光景が描かれている。
- オ 病院内に置かれた施設や配置が詳細に描かくことで、作品全体にリアリティーを持たせている。

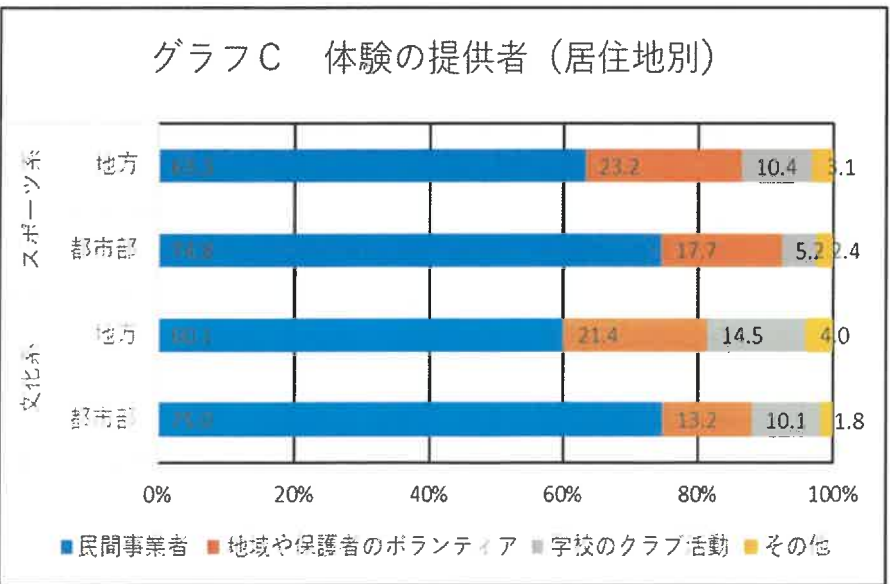
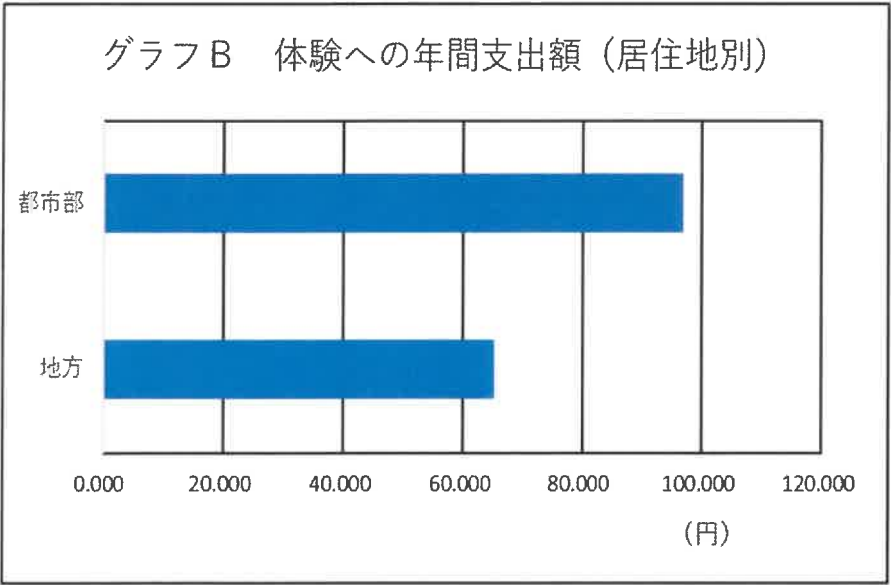
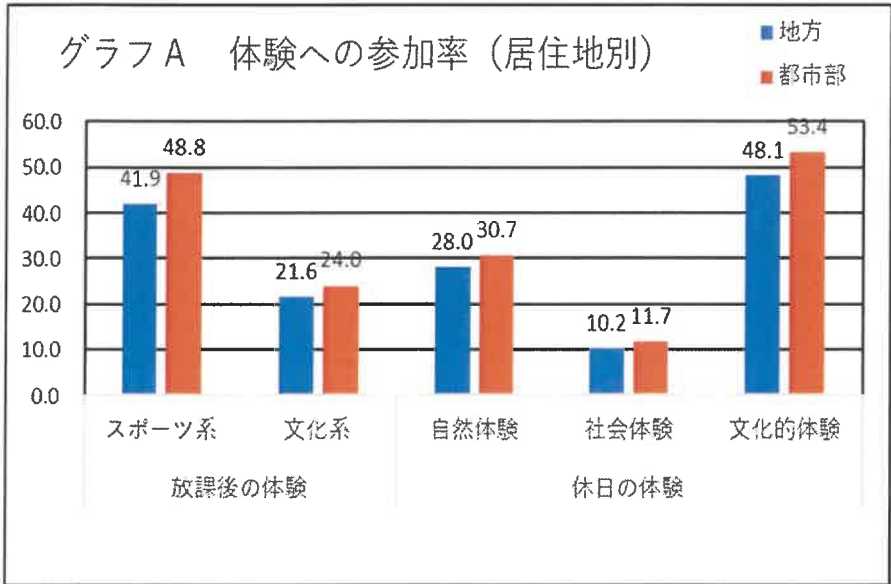
問七 この小説の作者角田光代は二〇〇五年に直木賞を受賞した。この文学賞の創設に深く関わり、雑誌「文藝春秋」を創刊した、四国にゆかりがある人物は誰か。次の選択肢から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 正岡子規
- イ 菊池寛
- ウ 川端康成
- エ 志賀直哉
- オ 芥川龍之介
- カ 壺井栄

三

次の文章とグラフ（A・B・C）を読んで、あとの設問に答えなさい。なお、設問の都合で一部に省略した箇所がある。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います



（今井悠介『体験格差』による）

問一 文中の空欄 1 から 9 を補うのに最も適当な語句を、次の中から選び、記号で答えなさい。ただし同じ語句を複数回使ってもよい。

- ア スポーツ系
- イ 文化系
- ウ 都市部
- エ 地方
- オ 年間支出額
- カ 参加率
- キ 民間事業者
- ク 地域や保護者のボランティア
- ケ 学校のクラブ活動
- コ 参加費
- サ 交通費
- シ 引率

四

次の各文の空欄に入る最も適当な語句や漢字を、各選択肢から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 大ヒット間違いなしという予想（ ）その商品は売れなかった。
ア のために イ を介して ウ に反して エ に基づいて オ に対応して
- ② 店員は、店内をうろついている男は怪しい客だという様子を（ ）見せていた。
ア しげしげと イ つらつらと ウ まじまじと エ とくどくと オ ありありと
- ③ 相手のいい加減な対応に怒り（ ）に発した彼は、訴訟を起こすことに決めた。
ア 頭髪 イ 心頭 ウ 真当 エ 極限 オ 限界
- ④ 彼の主張は、井の中の蛙が（ ）を知らないのと同じだ。
ア 真実 イ 現実 ウ 外界 エ 大海 オ 天空
- ⑤ 困難な状況に直面することで、私たちは精神的な強さを（ ）できる。
ア 肝要 イ 涵養 ウ 慣用 エ 寛容 オ 漢陽